



広報あくな

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
 昭和52年10月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行 1部10円

世帯数と人口 (9月1日現在)	
世帯数	9,240 (+4)
人口	30,449 (+76)
男	14,160 (+32)
女	16,289 (+44)
()内は前月比	



10月号

人生はマラソン

「やる気があれば、何でもできるというのが私の信条。これまでにいろんな苦しいことがありました。しかし、マラソンで身につけた忍耐力が私を支えてくれました」と話す小原末廣さん(永田上・32歳)。

小児マヒによる右上肢の機能障害というハンディを克服。農業の傍ら

県下一周駅伝大会に2回出場。現在もランニングを欠かさないというスポーツマンです。

「体が不自由ですから、農作業には苦勞します。しかし、人生はマラソンみたいなもの。くじけずにかん張りたい」と語る小原さん。姉さんの紹介で、このほど結婚。妙子さんというすばらしい伴侶を得て「平凡でも明るい家庭をつくりたい」と、仕事に精出す小原さんです。

主な内容

八郷など4地区を追加舗装	2
舗装率70%明るい見通し	2
農村ごとに話し合い運動を	3
少ない地元企業からの求人	4
みどりの窓口、開設を陳情	4
23年ぶり虚無僧踊りを復活	5
90歳以上を国民宿舎に招待	6
日置さんに交通栄誉章	7
石澤さんらを表彰	8
36年ぶり「畦六」を復活	8

第3回定例市議会

八郷など四地区を追加舗装

二地区の生活道路も整備

第三回定例市議会は、九月八日から十六日まで九日間の日程で開かれ、農道舗装事業費の追加や市庁舎の建設工事費など、総額三億三千七百三十九万六千円にのぼる一般会計の補正予算など、議案十三件と同意二件、認定一件を審議しました。

主な補正予算

一般会計の補正予算では、国の事業採択が決定した市庁舎を改装するため、約一億八千万円を市庁舎建設費に追加しています。

同意二件は九月三十日付で任期満了となる榎本正・固定資産評価審査委員の後任として、京田幸雄氏の選任と、同じく同日付で任期満了となる喜多哲城・教育委員を再任したものです。

認定一件は昭和五十一年度何久根市水道事業の決算認定で、建設委員会付託のうえ継続審査となりました。同事業の決算報告書によると、昭和五十一年度の収入総額は約一億二千万円、これに対し支出総額は約九千万円で約三千万円の黒字決算となっています。

議案十三件は老朽化した鶴川内中学校危険校舎改築工事の請負契約の締結について、地方自治法によって議会の議決を求めたものと市税条例の一部を改正する条例や市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例などのほか、一般会計の補正予算などでした。

市税条例の一部を改正する条例

は、地方税法の一部改正に伴い、宿泊者の入湯税七十円を百円に、日帰り客の入湯税四十円を五十円に、それぞれ改定したものです。市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例は、老朽化した高松庶民住宅二戸を廃止したものです。

舗装率70%明るい見通し

五年計画を四年で実現可能

道路整備を重点施策としている本市では、本年度は臨時市町村道整備事業などで三十路線一万五千七百五十六分の市道を改良舗装することにしています。第三回定例市議会で、一般会計の補正予算が可決され、新たに農道舗装事業に八郷・牛之浜・大林・後峯の

号線を接続する市道に歩道を設置し、歩車道区分のある道路に改良することとしています。

このほか阿久根・東郷線などの農道改良舗装事業の地元負担金として、四百二十五万円を追加。農道関係では立石地区（編本）の農道改良舗装に三百四万円を追加しています。

農政関係では畜産奨励を図るため、瀬之浦地区に予定されている二・四九おの飼料畑造成に対し、事業費の六割を補助することにしているほか、麦作の集団育成を図ることにしています。

また、本年度から農村振興話し合い活動推進員を委嘱し、各地区ごとの話し合い運動を進め、話し合いのなかから、農家の生の声を集約し、新しい村づくりの方向を見いだすことにしています。

五か年計画が目標としている舗装率七〇%達成を、四年間で実現できる明るい見通しとなりました。

また、これまで行政の手の届かない道路として、整備が遅れていた日常生活道路についても、本年度から新たに二十万円を限度に事業費の四割を補助することにし、これまで大角・冷木場・仲仁田地区の整備を進めてきましたが、同事業に対する市民の期待が大きいため、補正予算のなかに二地区の事業費を計上し、市民の要望に応えることにしています。

身障者の職業訓練生を募集

身体障害者職業訓練校では、昭和五十三年度の訓練生を募集しています。訓練科目は時計修理・電子機器（テレビ・ラジオ）、洋服・義肢装具・園芸・経理事務の七科目で、訓練生には日額約千六百円の手当のほか、寄宿手当、受講手当などが支給されます。

応募資格は義務教育を終了した人で、職業訓練に支障のない身障者となっています。ご希望の方はお近くの公共職業安定所に備え付けの入学願書に、身体障害診断書健康診断書、写真を添えて、最寄りの公共職業安定所に提出してください。

なお、募集期間は新学卒者が十月一日から十二月二十四日まで、一般は十二月二十六日から来年二月二十日までとなっています。

詳しくは市福祉事務所が最寄りの職業安定所にお尋ねください。

技能検定試験と技能五輪選手選大会を実施

昭和五十三年度の後期技能検定試験と技能五輪選手選大会が、左記のとおり実施されます。

ご希望の方は、県技能検定協会（電話〇九九二〇三二四）か県

農村ごとに話し合い運動を

あぜ道の声を村づくり

県はあぜ道の声を積み上げ、豊かで、ゆくもりに満ちた村づくりを行うため、農村振興運動を進めることにしています。本市でも各地域に農村振興話し合い推進員を委嘱し、この運動を具体的に推進していくことにしています。

この運動は農家・非農家を問わず、農村に住むすべての人たちが集落ごとに話し合い、農村環境や

実践目標や実行方策を決め、みんなで問題を解決しようとするもので、「村」に活気を呼び戻し連帯感に満ちた農村社会の実現をめざす運動です。

また、村づくり事業は、話し合い運動で決った実行方策を具体化

するために必要な農村環境の整備や小規模の土地集積の整備、農業用機械の導入、伝統文化の保存などを促進し、農村に住む人たちが自立の精神に燃え、自分たちで農業・農村問題を解決できる体制を確立しようとするものです。

水田裏飼料作物に奨励金

水田の裏作として飼料作物を栽培した農家に、十、当り六千円の奨励金が支給されます。

これは限られた国土資源を有効に利用して粗飼料を増産し、畜産

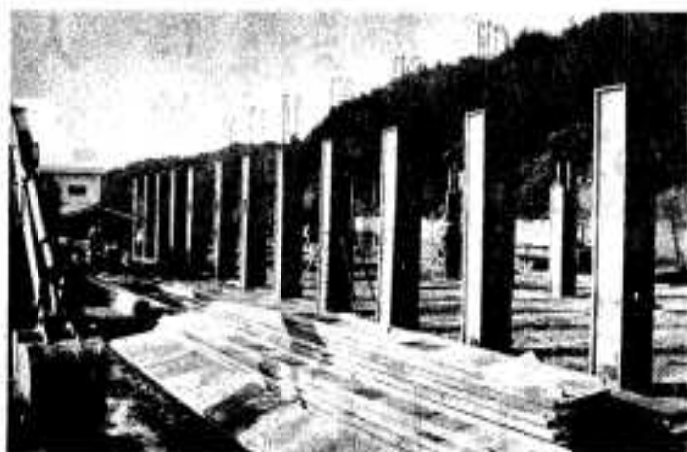
経営の安定化を進めようとするもので、対象作物はイタリアンライグラス・青刈りエンバク・青刈り大麦・飼料カブ・レンゲの五種類です。ただし、レンゲについては種子購入証明書が必要です。

なお、詳しくは市農政課にお問い合わせください。



葉たばこの収納はじまる

九月下旬から専売公社高尾野収納所で、葉たばこの収納が行われ坂元市長も農家を激励しました。本市では折口中津原地区を中心に二十七戸の農家が約二十日に栽培。今年は何年にもない天候にめぐまれ、売上げ高は一億円を突破するのではと期待されています。



鶴中校舎の改築工事着工

老朽化した鶴川内中学校危険校舎改築工事が、このほど着工しました。新しい校舎は鉄筋コンクリート造2階建てで、900㎡。校長室、職員室、事務室、保健室、教室3、特殊教室6を備えたモダンな校舎。同校の旧校舎は、終戦後、出水飛行場の兵舎を移転した木造校舎でした。完成は来年2月。

民生労働部職業訓練課に、お問い合わせください。

▽技能検定試験実施職種 時計修理・建設機械整備・農業機械整備・冷凍空調和機器施工・紳士服製造・和裁・寝具製作・帆布製品製造・布はく縫製・陶磁器製造・洋菓子製造・和菓子製造・建築大工

かわらぶき・配管・型わく施工・鉄筋組立て・防水施工・ガラス施工・建築製図・機械製図・構造物現図製作・広告美術仕上げ・表紙装具製作・カーテン施工・建築透視図製作

▽技能五輪県予選大会実施職種 時計修理・洋服・建築大工・配管・機械製図・広告美術・電気・電気

落後。(参加資格は昭和三十一年一月以降昭和三十四年十二月までに生まれた人)

▽受付期間 十月十二日～十月二十一日まで。▽申込先 鹿兒島市小川町一ノ一六 鹿兒島県技能検定協会

訂正とおわび

九月号五ページの生活道路整備事業の記事で「市では、この事業を更に進めるため、来年度から補助限度額の廃止を検討」としましたが「事業地区を増やすよう検討」に訂正しおわびします。

少ない地元企業からの求人

若者の都会流出に拍車

策 会 用 対 策 会 雇 懇 談

市内の企業代表者と各学校の就職担当教員などによる雇用対策懇談会は、九月二十六日（月）市民会館で開かれ、席上、学校側は「市内への就職希望者は多いが、地元企業などの求人申込みがない」などの悩みを発表し、地元企業の雇用の実態と、学校での就職指導の現状などについて意見交換しました。

会には市内の企業代表者と学校就職担当教諭のほか、坂元市長や職業安定所・商工会議所などの関係者十五人が出席し、こんどの雇用対策について話し合いました。

席上、阿久根農高の福盛重吉先生は「二百三人の卒業予定者のうち、五十人が県内就職を希望していたが、求人がないため三十人に減った。学校では地元企業からの求人を期待している」と実情を訴えました。

これに対し中継ニットの黒崎文

「深刻になる」と訴えました。

阿久根高校の小田原信次郎先生は「最近では公務員希望者が多い。また、高校卒業生の傾向として、高校を卒業しているから、現場では働きたくないという考え方をもっている」と述べ、松元茂夫、鹿児島製靴社長も「事務志望の女性が多いが、工員として働く女性は少ない」と肯定されました。

また、鶴川内中の重久幸夫教頭は「昨年は市内の中学校から三十一人が就職。就職生のはほとんどが定時制高校への進学を希望しており、市内には定時制高校がないので、地元企業への就職は無理」と教育上の問題を指摘されました。

こうしたなかで大塚深・出水公共職業安定所長は「男性が多い地域ほど発展する傾向にあるが、阿

久根は女性百人に対し男性八十五・五人と県平均より少なく、出稼者が多い反面、二十四歳以下の若年層が少ない。また、県下高校生への求人数は三千七百四十六人だが、阿久根からの求人は一人にすぎない。これでは、地元で若い優秀な人材が残ろうにも、仕事がない。県外に就職をせざるを得ない。地元企業のかたは、早目に求人申込みをしていただきたい。また、市も男子雇用型の企業誘致に一層努力してほしい」と要請する一方、「情報が発達している今日では、地元への就職呼び掛けだけでは駄目。地元企業も経営の改善を行い、賃金のレベラアップなど、県外の雇用条件に近づける努力をしなければ、優秀な人材の確保はむずかしい」と訴えました。

従って今後は男子雇用型の企業誘致が大きな課題ですが、昨今の経済情勢では大きな期待はできず当面、即存企業の経営合理化による雇用条件の改善と雇用力拡大に期待せざるを得ない実情です。

阿久根駅「みどりの窓口」を

来年四月開設を陳情

市では国鉄利用者の利便を図るため阿久根駅に「みどりの窓口」を設置していただくよう陳情を重

ねています。

現在、阿久根駅での特急券・優待券・指定席券・グリーン券など

の購入は、出水駅の「みどりの窓口」に設置されているコンピュータによって発売されています。

このため、希望する特急券などが購入できなかつたり、何回も駅に足を運ばなければなりません。

そこで市では、乗車券購入の不便を訴え、九州西海岸観光ルート拠点都市として、長島町、東町

牛深市などの関係市町の協力を得て、「みどりの窓口」の設置を陳情したものです。

「みどりの窓口」は、県内では西鹿兒島駅・川内駅・出水駅の三か所に設置されており、鹿屋市・串木野市・指宿市などが誘致に乗り出しており、本市では来年四月開設に向け陳情を進めています。

誕生 おめでと

出生児 保護者 区名

梶	廣弘	弘昭(高)
東	利枝	義弘(波留)
田中	文二	高徳(丸内)
新留	悟史	秀雄(永田上)
松永	智典	順利(大丸)
鶴岡	愛	良文(尻瀬上)
佐藤	敏美	五月男(中村)
中西	幸人	俊昭(高松)
宇都	麻耶	春孝(大丸)
廣崎	聡	勝美(佐島)
野畑	祐子	直(浦)
根比	五子	堅治(浦)
山田	しのぶ	仕二郎(段)
永井野	康徳	幸蔵(尾崎)
出口	隆盛	時治(浦)
古川	恵嗣	力(中村)
猿楽	大輔	千吉(佐島)
牧内	俊憲	克寛(寺山)
福崎	秋成	元春(寺山)
川内	真由美	勝範(段)
若松	和幸	義三(尾崎)
宮原	真也	伸夫(段)
野畑	恵	勲(浦)
上野	義博	義一(陳之尾)
廣田	菜穂子	勉(上野)
小田	光一	一男(大尾)
中野	和美	博(的場)
山田	幸広	正一(古里)
大津	勲	道男(永田上)
津田	隆行	六夫(黒之上)
福浦	小百合	義文(黒之根)
梶尾	麻美	五国(黒之根)
太田	聡子	泰徳(大谷)

虚無僧踊りを復活

23年ぶり稲牟礼神社に奉納

伊老人
クラブ



編み笠、白装束なども新調して虚無僧踊りを復活

九月十七日、西目戸の稲牟礼神社例祭で、伊老人クラブが二十三年ぶりに「虚無僧踊り」を復活し奉納。また、相撲協会は同境内で第二回市相撲大会を開き、二十年ぶりに相撲を奉納しました。

五穀豊じょうを祈願する稲牟礼神社は、倉庫焼失などを祭神とし二十年前までは奉納相撲などが行われていました。しかし、時代の移り変わりとともに、伝統の相撲大会や郷土芸能などの奉納が見られなくなっていました。そこで、伊老人クラブは「古くから伝わる民俗芸能を復活しよう」と、まず虚無僧踊りの復

活に乗り出し、浅野トミ子さんの指導で三月から練習をはじめ、さっそく、今年の例祭に奉納したものです。

虚無僧踊りに使う編み笠は、イ



土俵で技を競う子供たち

草を切り乾燥させ、余暇をみては編んだもので、尺八や白装束などほとんどが手作り。

男女十二人による虚無僧踊りのなかには、ことし九十歳の松林八太郎さんもあり「厳重な虚無僧踊りを踊ると身が引き締まる」と元気に話していました。

同老人クラブの岩崎武夫会長は「近いうちに「オオムス子」も復活させ、虚無僧踊りと一緒に、数少ない郷土芸能として若い人たちに伝承したい」と話しています。

第2回 相撲大会

脇本小Aチームに栄冠

小学校個人戦は今浜君

稲牟礼神社境内で行われた第二回相撲大会には、市内の小中学生や中学生・一般などが参加し、熱戦を展開しました。

小学校団体戦には八チームが参加。予選リーグの結果、脇本A・脇本B・西目・華人の四チームが決勝トーナメントに進出し、脇本

Aチームが優勝しました。個人戦には十六人が参加し、今浜君（華人小）と新戸君（西目小）が決勝戦に進出。小柄ながら技を身上とする新戸君を、体力に勝る今浜君が上手投げで破り優勝しました。

中学校個人戦には七人が参加し柔道で鍛えた久保田君（阿中）と重君（阿中）が決勝戦に進出。久保田君が押し倒して破り優勝しました。また、一般団体戦には、西目と阿久根が参加。五対〇と阿久根が圧勝しました。

このほか同日は、西目校区の子供会育成会の相撲大会も行われ、同日の稲牟礼神社境内は子供たちへの声援や老人クラブの踊りなどで、にぎわいをみせていました。なお、小学校団体戦の決勝トーナメントの成績は次のとおりでした。

一回戦 脇本A3―2西目
脇本B2―3華人
決勝戦 脇本A3―2華人

御冥福を お祈りします

御寄付 ありがとう

- 洲崎 豊和 0 (黒之浜) 敏春
 - 濱崎 嘉七 80 (黒之浜) トキヨ
 - 石澤 一夫 63 (脇馬場) 謙二
 - 佐々木ハナエ 52 (黒之浜) 義男
 - 榎木 ヒロ 62 (上原) 下山健二
 - 迫田ハツギク 70 (橋之下) 福松
 - 長野 可苗 83 (橋之東) 多美子
 - 水江 トメ 89 (脇本浜) 重剛
 - 大尾 智子 39 (浜) 貞雄
 - 小園 エノ 78 (田代下) 三郎
 - 瀬戸口キサエ 70 (上野) 淳一
 - 福田 シラ 71 (佐馬) 静雄
 - 吉田 フチ 74 (牟田) 勇
 - 長瀬 トコヨ 74 (町) 優策
 - 大塚 フミ 71 (町) 善平
 - 濱田 益雄 72 (彼留) フチ
 - 岡 トメ65 (新町) 小牟田只英
 - 濱田 梅吉 76 (的場) 幸成
 - 大尾 長五郎 83 (大尾) 文一
 - 高原 スギノ 76 (宮原) 謙義
- 香典返しに代えて市社協へ。
迫田福松(橋之下) 長野多美子(橋之東) 吉田勇(牟田)
永江重剛(脇本浜) 神之田イセノ(敷内) 大尾文一(大尾)
高原謙義(宮原) 浜田幸成(的場) 西浦敏(脇本浜) 松元敏(古里) 有田静子(尾崎) 湯田マツエ(尻中) 川辺秀雄(大浜川) 猿蓑禮子(佐海)

ひろば

この欄は市民のみなさんのページです。話題や市政に対する意見などがありましたら市総務課秘書広報係までお知らせください。

「来年も来やんせなあ」

90 歳以上を国民宿舎に招待
市職員らが踊りで長寿を祝う



この日は坂元市長らが「ホステス役」

敬老の日の九月十五日は、市内各地で敬老会が行われましたが、市では九月十四日（水）九十歳以上のお年寄りを国民宿舎に招待し長寿をお祝いしました。

今年九十歳以上のお年寄り四十四人のうち、元気な十一人が出席され、国民宿舎自慢の料理に吉つつみを打ちながら、楽しい一日を過ごされました。

招待敬老会に出席されたお年寄りが一人一人、坂元市長から敬老年金や記念品などが贈られ、お年寄りたちは「ありがたいことです」と喜ばれていました。

懇親会では坂元市長や小野助役などが「ホステス役」に変身。一人一人に「長生きして、来年も来やんせなあ」と声をかけて握手し長寿を祝福しました。

また「おじいちゃん、おばあちゃんたちのために」と、ビッグアイランドのほか、市職員の中野和子さん、下園邦子さん、神之田友子さん、奥平登代子さん、川畑まり子さんの五人が特別出演。

「ちゃっきり節」や「新おはら節」などの踊りを披露。お年寄りたちは「長生きしてよかった」と目を細めていらっしゃいました。

吉野さんと川原さんを表彰

初期消火で火災による被害を最少限度に食い止めた吉野治吉さん（寺山）と川原功さん（遠矢）の2人にこのほど市長室で感謝状が贈られました。お盆まの8月14日、遠矢区の実家に備っていた吉野さんは、実家の縁側で隣家の火災を発見。119番に電話をしたがあわてていたため通じず、居合わせた義弟の川原さんと現場に駆けつけ、火災を鎮圧させたものです。



心をひとつにと団旗を寄贈

「子供たちが心をひとつにし、練習の励みになれば」と、このほど石沢進さん（段）は、阿久根小剣道スポーツ少年団に団旗を寄贈され、子供たちは「以前からほしいと思っていて団旗を贈っていただきありがとうございます。これからは一生懸命練習に励み、心身を鍛錬します」と、うれしそうでした。



チリカゴを寄贈

「清潔で明るい町にしよう」とこのほど阿久根ライオンズクラブは、チリカゴ五個を市に寄贈しました。市では、さっそく市内の公園に配置して役立てています。

同クラブは、これまでも駅前シカのプロンズ像を建立したり新港近くの晴海公園内に水飲み場を設置するなど、地道な奉仕活動を続け、市民に喜ばれています

六十五歳以上を健康診査 診査期間は十一月末まで

市では六十五歳以上の方に老人健康診査券を配布し、お年寄りの健康診査をお願いしています。

受診券を受けた方は、国立療養所を除く市内の病院で、一人洩れなく健康診査を受けてください。

診査期間は十月一日から十一月三十日まで、毎日午前九時から正午までとなっています。

なお、健康診査料は無料ですが受診の際は保険証のほか、七十歳以上のかたは老人医療費受給者証をご持参ください。

暮らしのロケ

お祝い電報は配達日の三日前までに発信しますと、百五十円の割引となります。

日置さんに交通栄誉章

交通補導の功労者として



日置 幸徳さん

国道3号線から田代県道に向かう中村薬局前の交差点で、長年にわたり交通補導を行うなど、交通事故の防止に貢献されてきた上野の日置幸徳さん(51歳)に、このほど、全日本交通安全協会から交通栄誉章、緑十字銅章が贈られました。

表彰を受けた日置さんは「母が交通事故で病院通いをはじめた四年。それ以来、二度と悲惨な交通事故をみたくないと、街頭補導を行うようになりました」と話されています。一時は「物好きな人もいます」と、笑われたこともあったと話す日置さん。

現在は県交通安全指導員と交通安全協会の広報部長として、阿久根警察署管内の法令講習や道路診断などに東奔西走。「受賞を契機に、一層、交通事故の防止に努めたい」と話されています。

10年ぶりに神舞の楽を奉納

県の無形文化財に指定されている南方神社の神舞は、8年目毎に奉納されていましたが、後継者難などで途絶えています。そこで波留区では、とりあえず神舞の楽の復活に乗り出していますが、今年9月11日の例祭で、10年ぶりに神舞の楽を奉納し「来年あたりは神舞を奉納しよう」と話し合っています。



市営住宅入居者を募集 十一月四日に説明会

市では市営住宅に空き家が多いため、入居者を補充するため、市営住宅の入居希望者を募集します。住宅に困っている方で、市営住宅への入居を希望される方は、十一月四日午前九時三十分から、市民会館で行われる市営住宅入居希望者説明会に出席のうえ、十二月二十七日までに、市建設課にお申し込みください。

手料理

いりどうふ

「材料―四人前」とうふ二丁、ニンジン四十粒、生シイタケ四個、サヤエンドウ十粒、砂糖大さじ二杯、しょう油大さじ二・五杯、塩とサラダ油少々。

〔作り方〕①とうふはなべに入れてよくもみほぐし、ひたひたの水を加えてゆでる。ゆで湯が煮えたら、フキンをしいたザルにあげ二〜三分間、水をきる。②ニンジン、シイタケは短いせん切りにする。③サヤエンドウは色よくゆでてせん切りにし、砂糖と塩少々で煮る。④ニンジンとシイタケを油少々でいため、①のとうふを加えてよくいり、砂糖としょう油で調味して更に入り煮する。好みで卵を割り、ほぐしていれてもよい。⑤器に④を盛り、サヤエンドウをちらす。

ふるさとに寄せて



故郷に帰る日を楽しみに

大阪府泉大津市池浦町四ノ五ノ四

簡 武 勇 さん

転じて低成長時代を迎え、異郷の地にも不況の波が押し寄せてまいりましたが、その度に、懐かしい故郷の山や川、異郷では味わえぬ人情味あふれる阿久根での暮らしをしのんでいます。

すばらしい自然環境に恵まれた阿久根を離れて十五年の歳月が流れ、雑音の中で過してまいりました。高度成長時代から一

若者たちは都会に憧れて流出していますが、都会は決して偉い人の集まりでも、甘いところでもありません。厳しい今日の経済情勢のなかでは、阿久根も都会も大差なく、阿久根で食えぬ者は都会でも生きられないといっても過言ではありません。

ふるさとを離れるたびに、見違えるような発展を見せている私たちの郷里「阿久根」は、私共の誇りであり、いつの日か故郷に帰る日を楽しみに、毎日の仕事に精出して今日この頃です。(阪本簡田出身)

保健

死因別の一
メモ 位は脳卒中

本市の五十一年の死亡者は三百二十七人で、死因別にみると①脳血管疾患(脳卒中)八十八人②悪性新生物(ガン)五十九人③心臓疾患五十三人となっています。死亡原因一位の脳卒中は、高血圧・動脈硬化が原因となっておとる病気で、毎日の生活が大きく影響します。なかでも、一番関係の深いのが塩分です。「うす味」になれて、高血圧を予防したいものです。

老人福祉大会

石沢さんらを表彰

歌と踊りで若返える

「地区連合会による自主的運営を強化し、老人スポーツによって健康と生きがいを見出そう」を大会スローガンとする第二回老人福祉大会は、九月二十四日（土）市民会館ホールで開かれました。

区の人老人クラブなどから、踊りや歌などが披露され、お年寄りたちは楽しい一日を過ごしました。

表彰式では、昭和五十一年度の老人クラブ活動で、活発な活動を行った大川島藤山会と高松万年青年クラブの二団体のほか、地域の老人クラブ会長として、老人クラブの運営に功勞のあった岩崎武夫さん、石澤重さん、大田庄吉さん、大石岩重さん、前田常義さん、濱之上九州男さんの六人が個人表彰を受けました。

また、地域の老人クラブに献身的な協力をされてきた下村区長の石沢正徳さんが、協力者として個人表彰されました。



▷ 表彰を受ける大石岩重さんら

36年ぶり「畦六」を復活

山下校区
婦人会

情緒あふれる郷土にと



畦六をせん議する殿様

「何と畦六、この間つかわしておいたホシカン代（肥料代）は、できたか」「ごふそうながら、ま

いうせりふで始まる民俗芸能「畦六（あせ六）」が三十六年ぶりに復活し、このほど市民会館で開かれた老人福祉大会で披露され、会

場の拍手を受けていました。山下校区婦人会（田島始恵会長 会員百三十人）では「地域の連帯感をとり返し、情緒あふれる郷土にしよう」と、昭和五十年から郷土芸能の復活に乗り出し、これまでに「ツンコテコン」と「虚無僧踊り」を復活させていますが「畦六」はその第三弾となるもの。

- 首々百姓の「畦六」は、庄屋から肥料代を借りていたが返さないため、庄屋が取り立てていたら殿様の行列が来て「畦六」の顔を見るなり、「絵圖の表の将軍太郎、（お尋ね者）に違いない」とおなわになったため、庄屋が「この者は畦六と申す土地の者で、そのような無作法なことをするはずがありません」と、弁解の機会をつくらせてやり、畦六はおとがめを受けずにすんだというあらまし。

在宅医さん

十月十六日

阿久根内科 ②0578 (新町)

林 病院 ③0836 (本町)

石原医院 ⑤0045 (橋之東)

十月二十三日

堀切医院 ②0263 (高松)

喜多医院 ②0038 (大丸)

濱之上医院 ②600 (脇馬場)

十月三十日

上園医院 ③1055 (本町)

田中医院 ③0553 (大丸)

平 医院 ⑥2626 (古里)

十一月三日

北国医院 ③0016 (本町)

喜多医院 ②0038 (大丸)

黒木医院 ⑤0200 (下村)

十一月六日

堀切医院 ②0263 (高松)

内山医院 ③1551 (高松)

石原医院 ⑤0045 (橋之東)

十一月十三日

阿久根内科 ②0578 (新町)

林 病院 ③0836 (本町)

濱之上医院 ②600 (脇馬場)

十一月二十日

上園医院 ③1055 (本町)

田中医院 ③0553 (大丸)

平 医院 ⑥2626 (古里)

十一月二十三日

北国医院 ③0016 (本町)

中村病院 ②0015 (大丸)

黒木医院 ⑤0200 (下村)